



デザインと技術の

折り合いのとれた家具造り

有限会社 福山工芸

専務取締役 福山 貴文さん

大川で七十年以上の歴史をもつ木工所、(有)福山工芸にスポットライトを当ててみた。景気低迷の中、安定した受注を確保している企業だ。

福山工芸の特長の一つは、ユニークなデザイン。三代目で専務の福山貴文さんは、「デザインには力を入れていません」と話される。他のメーカーには見られない個性的な家具が多い。それは京都のデザイン事務所とタイアップして、デザイン性豊かな家具を作り続けているからだ。

七年前から共同制作をして

いる京都のデザイン事務所は、ネットショップも運営している。現在その売り上げが好調だという。

そのデザインナーたちは、ネットショップを手がけている関係で、売れる商品、その傾向についての豊富なデータを持っているのだ。企画・デザインにそれが反映してくるのだ。

しかし、「こだわりの家具」は、このデザインナーグループとの「押し合い」の中で生まれてくると福山さんは言う。

「先方は、販売面、デザイン



